

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和5年度）2023年

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	6	4	日曜	8 : 30	15 : 00	高倉市民の森	17名
活動名称	高倉森で里山体験会					報告者：吉井 優	

1、活動目的

私達が散策路と小川の清掃活動をしている高倉市民の森は、鶴ヶ島市では最大面積の樹林地を有しています。森の中央を気持ちよい小川の飯盛川が横切っています。この森は未整備部分が残し、放置すると人を拒む自然に変化することが観察できます。様々な自然環境を持つ高倉市民の森が、未来に残す価値を持つ大切な森であることを理解してもらおう。

2、活動内容ほか

内容は、いつものツリーイング、ハンモック、綱渡り、川遊びの4項目を開催した。ツリーイングでは、小さな子供たちが多い印象であったが、ツリーイング指導団体の長によると、どこでも低学年の子供が多いそうです。10時開始の第1回では、キャンセルが多くボランティア参加の大学生3名に体験してもらった。第2回以後もキャンセルが目立ったが、キャンセル待ちの子どもが多く、定員を維持し開催できた。綱渡りとハンモックは、どういうわけか、かわるがわる子どもたちが移動しているようで、両方が満員となることはなかった。川遊びは、午前1回、午後1回実施した。この季節の川遊びは、人気があり、安全で水のきれいな小川を楽しんでもらえた。残念ながら前々日の金曜日のアペルト体験ではドジョウが獲れたが、今回は魚捕獲ができなかった。

3、評価：

今回は、雨天順延で1週間延期したことと、鶴ヶ島ガーデンパークのイベントと重なったためか、予定の参加人数を下回った。ここ数年での子供の参加人数は、2021年110名、2022年74名、2023年86名と推移したが、今年は70名となった。大人は56名の参加者となって、来年はなにか対策が必要です。

今回は、参加者が少なかったこともあり、ツリーイングもキャンセル待ちができ、つなわたり、ハンモックも順番待ちで並ぶことなく好きなだけ楽しめて満足できたのかなと思う。

また、強力な助っ人として城西大学から9人ものボランティア参加があり、力仕事を応援してもらいました。

4、課題

今年は旧高倉焼却場の駐車場が工事で使えなかった。ほほえみの郷の紹介で、鏑木製作所の駐車場を使わせてもらうことができた。地域の施設や企業と友好関係をきづけることは、我々の活動にとっても良いことであり、広げていきたい。里山体験会のような、夢基金から助成されるイベントは、謝金がもらえるのでできるだけ多くの会員に参加してほしい。

<里山参加会員>

小澤邦、脇谷、金、佐野、石川、石樽、小沼、柳川、井上、
松井、牛島、小嶋、吉富、木部、（撮影他 吉井、田中、村上）

<活動写真>

